

2021年度 学校関係者評価委員会 議事録

YIC リハビリテーション大学校 201 教室

2021年8月4日 15:00~16:30

出席者

(委員) 樋口佳苗, 金井和明, 中堀由記恵, 信久美佐子, 綿谷昌明, 白川 剛,
(学校:事務局) 乾校長, 藤井副校長, 久賀事務長, 渡辺校務主事, 加藤教務主事, 島本理学療法学科
長, 石丸作業療法学科長, 上原

1. 校長挨拶 (乾校長)

2. 定足数の確認, 委員長の選出 (上原)

定足数確認. 委員 14 名, 全員の出席により本会議は成立する.

委員長に綿谷委員, 副委員長に信久委員を推薦. 全員の賛同により承認された.

3. 議事 (綿谷委員長, 信久副委員長)

(1) 2020 年度の報告

・2020 年度自己点検評価結果について (藤井副校長) ・ ・ 資料 2020 年度自己点検 ・ 評価結果
多くの項目はこれまでの実績を踏襲し取り組んだ.

2019 年度から評価 (◎○×) を上げた項目, 下げた項目について説明.

< 質疑応答 >

綿谷委員: Faculty Development (大学教員の教育能力を高めるための実践的方法: 以下 FD) の実際の評価についてはいかがか.

藤井副校長: 教員研修は Y I C グループで行っている. シラバスの確認, 遠隔授業についての研修に参加している.

乾校長: 全教員が国家試験過去問題をチェックしている.

白川委員: 卒業生の把握はしないのか.

藤井副校長: 理学療法・作業療法の業種では必要がない. これまでも行っていない, 今後も行わない.

金井委員: 同窓会として連絡先を把握しようとしている.

藤井副校長: 離職率について, 情報収集が必要な業種として, 必要性が低い.

乾校長: 個人情報のこともあり配慮が必要.

・2020 年度学科報告 ・ ・ 資料 2020 年度学科報告資料

石丸作業療法学科長: 2020 年度国家試験合格率 100%, 全国では 88.8%であった. 国家試験合格者の就職率は 100%, 卒業生に占める就職者の割合は 100%である.

中途退学者は 4 名, 中退率 7%である.

2020 年 4 月 1 日在学者 55 名, 2021 年 3 月 31 日在学者 51 名である.

島本理学療法学科長: 2020 年度国家試験合格率 88.0%, 全国では 86.4%であった.

就職率は, 国家試験合格者の 95.5%, 卒業生に占める就職者の割合は 88.0%であった.

中途退学者は4名、中退率4.5%である。

2020年4月1日在学者114名、2021年3月31日在学者110名である。

<質疑応答>

綿谷委員：理学療法学科では、未定の1名が決まれば就職率100%か。

島本理学療法学科長：そうなる。

金井委員：作業療法学科はなぜ国家試験100%合格なのか。

石丸作業療法学科長：学生がまとまっていた。e-ラーニングシステムを構築していたこともよかった。コロナ対策のため在宅学習の機会があったが、その勉強方法が功を奏した学生もいる。

金井委員：コロナ面がマイナスに作用していたのでは。

石丸作業療法学科長：対面でできないことはZoomを使用するなど工夫した。

金井委員：就職について、例年より求人募集の時期が遅かったのではないかと。募集時期の遅さにより就職状況に影響があったのか教えてほしい。コロナの影響を受けているのかどうか。

藤井副校長：例年より少なかった。出足が遅かった。特に県内にみられた。求人がない状況ではない。

・2020年度重点項目と取り組みについて（検証）・資料 2020年度重点項目への取り組み

重点項目（1）国家試験合格率100%達成、国家試験対策教育の充実（藤井副校長）

重点項目（2）初年次教育の充実（加藤教務主事）

重点項目（3）客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination：以下 OSCE）の計画的な実施（加藤教務主事）

重点項目（4）入学者数増（藤井副校長）

資料をもとに説明した。

<質疑応答>

重点項目（1）について

信久委員：基礎医学系の動画コンテンツである VISUALEARN について、実際学生がやってみて学習の補完になっているのか。

乾校長：コンパクトにまとまっているコンテンツである。講義の中で学生に見せるとわかりやすいとの反応がある。学生が積極的に見ているかという個人によって差がある。

白川委員：国家試験対策ではまだ学習していない範囲も対象になると、学生は取り組みにくいのではないかと。

加藤教務主事：学習していない範囲も対象になるため目標設定が必要である。今年度からはセミナーの枠で授業として教えていければと考えている。

乾校長：できるだけ学習している範囲を対象とするようにしている。

重点項目（2）について

綿谷委員：基礎力リサーチについては、期末試験等に反映しているのか。

加藤委員：期末試験、国家試験などへの反映については検証できていない。内容については国語、数学などで、ここで分岐に事があれば指導していく。

重点項目（3）について

信久委員：OSCE を始めて以降、実習での指導が減った印象がある。基本的なことはできるようになっていると感じている。

金井委員：外部評価として OSCE にかかわった。かなり緊張感ある雰囲気で行っている。授業も担当しているが、その時とは全く雰囲気が違い、いい雰囲気で実施していると感じた。ぜひ今後も継続していただきたい。

藤井副校長：OSCE はすべて録画している。また、試験日に即日フィードバックしている。外部の方に模擬患者や評価をしていただいている。今後もバージョンアップしていきたい。

綿谷委員：OSCE の対策として授業を実施しているのか。

加藤教務主事：OSCE はひとつのコマとして実施している。教員による模倣と動画を使用している。

藤井副校長：動画をもとに授業を実施している。教員による指導内容の差が出ないように気を付けている。

重点項目（4）について

綿谷委員：ホームページへのアクセス数はどうか。

久賀事務長：昨年より増えている。1か月に5,000～6,000件、多いときでは10,000件を超えることもある。直帰率もそれほど多くない印象である。

樋口委員：教員と学生の距離が近いように思う。そういうことなども情報として必要ではないか。親としては安心している。

・2021年度重点項目と取り組みについて（計画）・資料 2021年度重点項目への取り組み

重点項目（1）入学者数増（藤井副校長）

重点項目（2）国家試験合格率100%達成、（藤井副校長）

重点項目（3）遠隔授業に向けたハード面の充実（藤井副校長）

資料をもとに説明した。

<質疑応答>

質問なし

・その他

<質疑応答>

樋口委員：実習の受け入れはどのような状態か。

島本理学療法学科長：昨年度はコロナの関係で受け入れできない施設様もあり苦労した。今年度は施設様側も受け入れ態勢ができてきているようである。

4. その他（上原）

（1）学校の年間予定について

（2）学校パンフレット・募集要項・年報について

以上
議事録作成者
上原奈緒子